

IBM® Aspera

アスペラ

Asperaは次世代のファイル転送技術で**ファイル容量、転送距離、ネットワーク条件**に制限されることなく、世界中のデジタル資産を高速で転送するソリューションです。

欧州 ↔ 東京

(RTT:200msec~300msec)

欧州から東京の距離で**1GB**の
ファイルを転送した結果・・・

	実効転送速度	所要時間
FTP	800kbps	3時間以上
Aspera	19 Mbps	7 分

FTPより
25倍も
速い



**高速
ファイル転送**

ファイルサイズ・転送距離・ネットワーク条件に関わらず、
高パフォーマンスでファイル転送可能



高信頼性

独自アルゴリズムによるデータ整合性チェックと再送処理、
回線遮断時に自動リトライ機能、レジューム機能

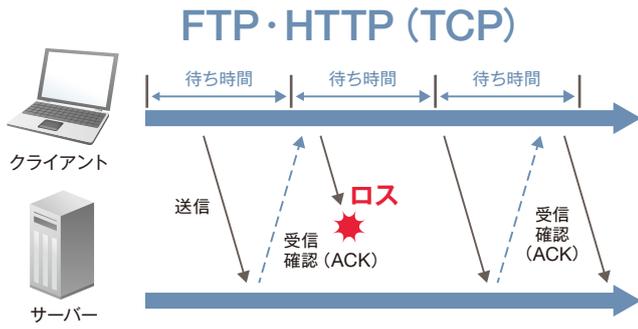


**強靱な
セキュリティ**

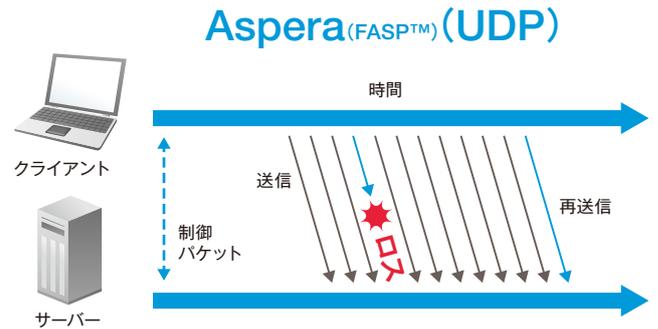
ユーザー/エンドポイント認証 (SSH)、暗号アルゴリズムに
AES-128を採用・FIPS140-2準拠、転送中のデータを暗号化

RTT:ラウンドトリップディレイタイム (Round-Trip delay Time) /メッセージを送って、戻ってくるまでの時間
SSH:Secure Shell (セキュアシェル、SSH) /パスワードなどの認証部分を含む通信が暗号化されるプロトコル
AES-128:Advanced Encryption Standard (AES) /秘密鍵暗号で鍵長は128ビット
FIPS:Federal Information Processing Standards (連邦情報処理標準)

FTP?それともUDP?



遅延やパケットロスで、期待した応答時間で受信確認できないと自動的に減速する



パケット到達順序に制約はなく、パケットロスが発生しても、転送レートを下げずに転送は継続

POINT

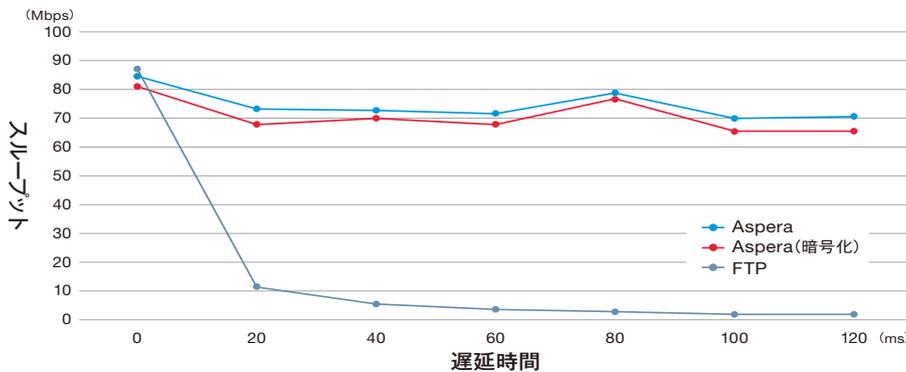
01 転送距離によって
速度が変わらない!

02 FASPによって
パケットロスの再送を制御!

03 他の通信を考慮した
帯域の制御が可能!

FASP vs FTP ベンチマーク比較

100Mbps回線でのスループット



※計測条件(時間帯、ネットワーク利用状況など)によって変動します。

FTP

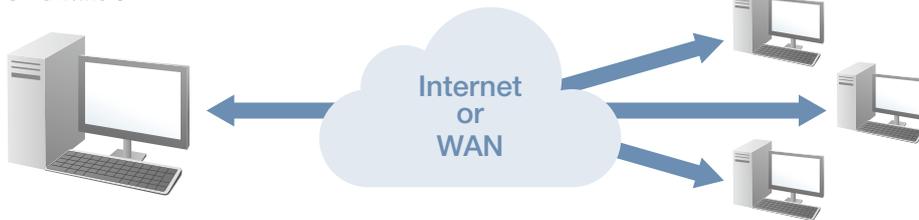
距離が離れるほど、遅延時間は大きくなり、転送速度は遅くなる

Aspera

FASPを利用したUDP転送のため、距離が離れても転送速度は変わらない

利用パターン・利用例

1対3拠点間



利用パターン

本社・支社間のファイル転送

利用例

各国で分散して開発されている設計データを本社に集約

エイチ・シー・ネットワークス株式会社

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル4階
TEL 03-6381-8856 <https://www.hcnet.co.jp/>
CAT.NO.HCNET-043 Printed in Japan 201804

IBM, Asperaは世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。本カタログに記載の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。本カタログに記載の内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。本カタログに記載の通信速度などは、ご使用環境により変化するため、保証するものではありません。本カタログに記載の製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

